

ホタテガイ採苗速報

稚貝採取は、1分5厘では西湾で7月上旬、東湾で7月中旬、
2分では西湾で7月中旬、東湾で7月下旬の見込み

1 ホタテガイの付着状況

6月21日～24日に行った第2回全湾付着稚貝調査結果は図1～図3および表1、2(別表)のとおりで、ホタテガイ稚貝の平均付着数は、間引きをしないものでは西湾で165,872個/袋、東湾で367,445個/袋と、いずれも過去10年の平均値(西湾51,725個/袋、東湾168,387個/袋)よりも多くなっています。また、間引き後の平均付着数は、西湾で36,601個/袋、東湾で21,419個/袋でした。

稚貝の平均殻長(間引きなし)は、西湾で2.52mmと、過去10年の平均値(2.54mm)とほぼ同じですが、東湾では1.43mmと、過去10年の平均値(1.67mm)よりもやや小さいサイズでした。間引き後の平均殻長は、西湾で2.84mm、東湾で2.03mmと、いずれも間引きをしないものより大きいサイズとなっています。

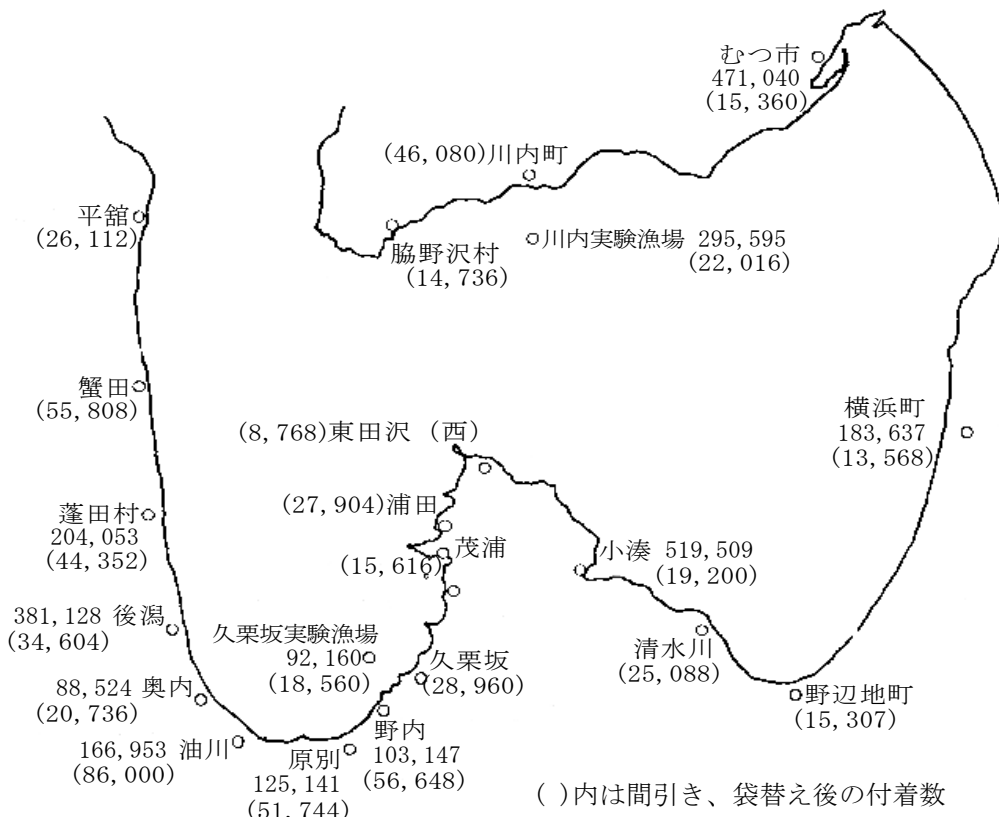


図1 調査地点毎の付着数 [単位: 個/袋]

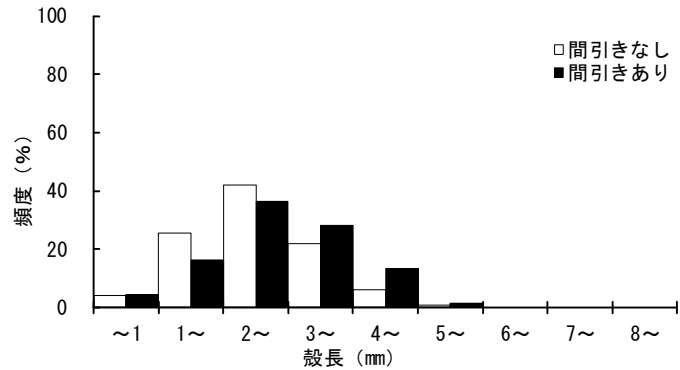


図2 ホタテガイの殻長組成 (西湾平均)

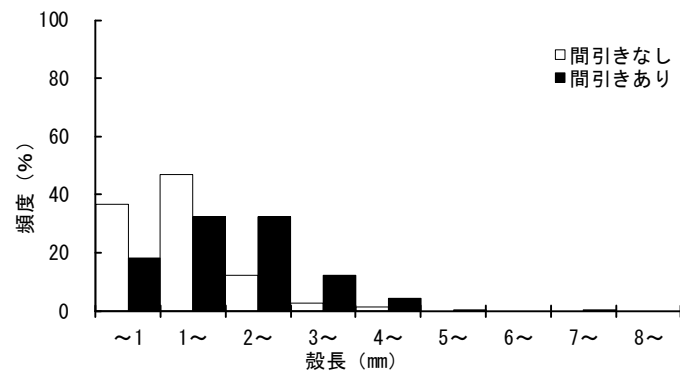


図3 ホタテガイの殻長組成 (東湾平均)

2 キヌマトイガイ・ヒトデ等の付着状況

キヌマトイガイとムラサキイガイの付着数(間引きなし)は、全湾平均でそれぞれ229,814個/袋、全湾平均で77,708個/袋と、いずれも過去10年の平均値(それぞれ59,498個/袋、42,783個/袋)よりも多くなっています。なお、ウミセミとヒトデの付着が一部地域で見られました。

3 ヒトデラーバの出現状況

ヒトデのラーバは、全湾平均で1.1個/トンと、過去10年の同時期の平均値(5.4個/トン)よりも少なく、付着直前のブラキオラリア幼生も見られませんでした。

4 海況

各ブイの6月18日～24日の平均水温は、表3のとおりです。平年と比較すると、平館ブイの15m層ではなはだ高め、青森ブイと東湾ブイの15m層でかなり高めとなっています。

表3 各ブイの1週間(6/18～6/24)の日平均水温			
観測地点	水温(°C)	観測地点	水温(°C)
平館ブイ	13.8～17.5	東田沢ブイ	14.0～17.3
奥内ブイ	14.0～18.2	野辺地ブイ	12.8～17.8
青森ブイ	12.6～18.2	東湾ブイ	10.4～17.6
		浜奥内ブイ	13.4～18.3
		川内ブイ	16.1～18.0

5 今後の見込み

付着数が多い採苗器は稚貝の成長が悪くなるので、適正な付着数(2万個/袋程度)に間引きしてください。

適正な付着数に間引きを行った採苗器については、1分5厘で稚貝採取する場合は、西湾で7月上旬、東湾で7月中旬から、2分で採取する場合は、西湾で7月中旬、東湾で7月下旬から開始できる見込みです。

なお、稚貝採取に関する詳細な情報については、**7月6日に第2回臨時付着稚貝調査(間引き後の中層1袋)を実施**して、7月9日に発行予定のホタテガイ採苗速報第13号に掲載しますので、参考にしてください。

